

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

答 獣医師や飼育員の協力、地域の理解等を考慮しながら、提案の施設も含め、災害時動物保護施設の具体的な設置場所を検討する。

問 ペットとの同行避難の取り組みの推進には、啓発用DVDの作成や、区ホームページでの動画配信など、一層の工夫が必要と思うがどうか。

答 災害時飼育動物対策計画では、飼い主自ら避難する場合は、飼育動物と同行して避難することを原則としており、今後、各避難所での合意形成や飼育のルール作りが必要にな



災害時における飼育動物対策の普及啓発ブース (総合防災訓練)

問 災害時飼育動物対策計画では、負傷した動物の保護のため災害時動物保護施設を設置する。設置にあたっては、土壌砂塵砂公園などの小動物がいるところや、園が設置されたテニスコートのある公園などが有効と考えるが、区の見解を伺う。

答 園は来年度中に、都は5年以内、浸水想定区域の見直しを実施する予定であり、区ではその結果を踏まえ、早ければ平成29年度から洪水ハザードマップの見直しに着手する考えである。また、家屋の倒壊等の危険性を示す洪水時家屋倒壊危険ゾーンや浸水継続時間を、新たに示す予定である。できる限り区民にわかりやすく、理解しやすい工夫をしていく。

※他の質問項目 地域単位でのタイムラインの策定 など

問 不登校やいじめ等により、十分に学力が身につかないまま中学校を卒業し、就労等の場面で苦労され、再度義務教育課程を受けたいと願う若者への取り組みを強化する。

※他の質問項目 計画の進捗状況 C Wings」との連携

答 京成押上線連続立体交差事業と立石金町地区の街づくり、関連した交通状況と今後の見直しについて伺う。

問 一般区間の用地買収率は100%となった。駅前区間については区が主体的に権利者との話し合いを進め、事業に対する理解が得られてきている。今後は更地化が進んでいる一般区間の工事着手を先行して、平成28年度の取組を先行する。

※他の質問項目 金町六丁目駅前地区まちづくり など

問 今後の選挙啓発活動などの取り組み。今後は18歳以上に選挙権が与えられる。同日の同時、選挙運動も行われるようになる。しかし、法に違反するなどの罰則などが科せられること周知も必要と考えるがどうか。

答 18歳以上に選挙権が与えられるので、同じ高校生3年生でも選挙権がある人となりがいる状況が生じる。無意識のうち法令違反を犯すことがないように、選挙に関するルールについて積極的に周知していく。

問 今後の選挙啓発活動などの取り組み。今後は18歳以上に選挙権が与えられる。同日の同時、選挙運動も行われるようになる。しかし、法に違反するなどの罰則などが科せられること周知も必要と考えるがどうか。

答 18歳以上に選挙権が与えられるので、同じ高校生3年生でも選挙権がある人となりがいる状況が生じる。無意識のうち法令違反を犯すことがないように、選挙に関するルールについて積極的に周知していく。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率が低い。胃がんハイススク検査を選択制にして、かつ受診料を抑えて実施してはどうか。

答 がんハイススク検査は有益と考えるが、現時点では国のガイドラインに位置付けられていない。現在、国は、がん検診の見直し作業を進めており、胃内視鏡検査の導入なども検討されている。これらの動向等を踏まえ、検査実施機種の確保や受診料設定など、検討を進める。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

問 がん検診受診率の向上。今までのがん検診受診率向上のための取組みについて伺う。

答 がん検診受診率の向上のため、特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。



教育資料館

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

自由民主党議員団

区内周産期医療の充実と南葛S.C.との協働の推進

葛飾赤十字産院の移転建替え

葛飾赤十字産院の建替えにあたって調整の過程と支援の方向性について伺う。

答 現在の施設は老朽化・耐震性などの課題を抱え施設更新手法を検討していたが、今年8月に区内での移転建替えに向け公有地の活用や支援依頼を踏まえ、移転先候補地として新宿図書センター及び道路補修課敷地を活用することとした。

問 基本計画において周産期医療の充実や防災対策の強化を赤十字産院に働きかけるとしていますが、今後どのような調整を行うのか伺う。

答 産院の専門性を区内に立地している強みを生かし、周産期医療の充実や地域医療連携の強化、災害時における医療機能の強化、区の子育て支援策との連携などを要望する。

※他の質問項目 災害時の妊産婦対策 など

他の質問項目 女子チーム「南葛S.C Wings」との連携

京成押上線連続立体交差事業と立石金町地区の街づくり

問 連続立体交差事業の進捗状況と今後の見直しについて伺う。

答 一般区間の用地買収率は100%となった。駅前区間については区が主体的に権利者との話し合いを進め、事業に対する理解が得られてきている。今後は更地化が進んでいる一般区間の工事着手を先行して、平成28年度の取組を先行する。

※他の質問項目 金町六丁目駅前地区まちづくり など

他の質問項目 計画の進捗状況

男女平等・女性活躍推進施策

問 女性が活躍する社会を実現するために、男性の積極的な協力を促していくべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 従来は女性がその多くを担ってきた家事・育児・介護等に関して、男性も女性と平等に担えるようしていくべきと考える。男性を対象とした実践的な講座の開催や情報提供を行い、男性の家庭生活への参画を推進する。

問 行政委員会・附属機関などの女性の委員比率30%の達成状況と今後の取組について伺う。

答 平成26年度末で27%と目標に達していないものもある。推薦団体に一層女性参加を増やそう働きかける。

※他の質問項目 男女平等推進計画の課題と成果

災害時の医療救護体制

問 災害時の傷病者の搬送手段として車輪付き担架の配備を進め、訓練等を通じて地域の防災力を高めていくべきと考えるがどうか。

答 平成27年度内に区内8カ所の緊急医療救護センターに1台ずつ配備する。今後区内のすべての避難所への計画的な配備が必要と考える。総合防災訓練や避難所運営訓練などで搬送訓練を充実する。

※他の質問項目 災害医療救護計画の進捗 など



高砂中学校図書室

学校図書

問 区の各学校における最新の学校図書館図書標準の達成状況を伺う。

答 平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、区立図書館49校中40校、中学校が24校中13校である。

問 古い利用されない本が残ることなく、適切な図書を受け入れや廃棄は行われているか伺う。

答 各校において、古くなり読みにくくなった本は廃棄し、子どもたちに読んでほしい本を新たに選ぶ、それらの購入を適切に進めている。

問 司書教諭の発令状況や学校司書の配置状況を伺う。

答 学校司書は全校に配置しており、週12時間、各校2日から3日の配置となっている。司書教諭については文部科学省の配置基準である12学級以上のすべての学校に司書教諭免許を持った教員を発令することにも、それ以下の学校についても、小学校1校・中学校3校を除き、同様の司書教諭を配置している。

問 平成26年度に策定した「かつしか教育プラン2014」では学校図書館の文言がなくなっているが、学校教育において欠くことのできない学校図書館をどのように位置付けているのか伺う。

答 学校司書とともに、司書教諭や学校図書館担当者を中心とした教職員、保護者等のボランティアの協働により、朝読書や読み聞かせ、本の紹介や学校図書館の壁面装飾等の雰囲気づくりなどに取り組み「読書センター」としての機能を段階的に高めてきている。

高砂地域のまちづくり

問 高砂団地の解体が進み、様々な土地利用が検討されているなか、創出用地を含む地区全体の土地利用の計画を、区として策定するべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 都市計画マスタープランの高砂地域まちづくりの基本方針を踏まえ、団地を含む高砂四丁目地区について地区計画を定め、団地の建替え区域は道路や公園などの地区施設の配置や建物のルールなどを定める地区整備計画を策定し、整備を進めている。団地の建替えに伴う土地の高度利用により生み出された創出用地の活用については、京成車庫機能の再生と公園としての利用や連続立体交差事業に伴うまちづくり用地としての活用など、地区全体の活用計画について、土地所有者である東京都鉄道事業者、さらに、地域の方々と協議を踏まえて検討を進めたいと考えている。

※他の質問項目 空き家となっている

「南葛S.C.」との協働

問 (仮称)「翼カレッジ」開催にあたって南葛S.C.の持つノウハウを積極的に活用するべきと考えるがどうか。

答 南葛S.C.と連携し、関係団体と協力しながら運営する。また、原作者の高橋陽一先生や版權元の集英社にも協力要請して、大会の付加価値を高める。今後ゆかりの地のチームを招待していきたい。

問 (仮称)「翼カレッジ」開催にあたり、キャンプ開催に登場する都市との連携を図り、友好を深めるべきだかどうか。

答 地方都市との連携による地域活性化も目的としており、作品に登場する日本全国のゆかりの地と連携して、物産展を企画開催する予定である。今後ゆかりの地のチームを招待していきたい。

ごみ減量・清掃事業の現状と今後の取組

問 一般廃棄物処理基本計画の今回改定の具体的な内容について伺う。

答 食品ロスの抑制などによるごみ減量の促進、燃やさないごみの資源化、使用済み小型家電の回収品目の拡大などの取り組みを一層強化することなど、環境学習や若い世代への情報提供の充実などを促進する。

問 平成32年開催予定のオリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした取り組みを伺う。

答 区内各地や外国からの多くの訪問客が想定されており、朝の早い段階で重点的にごみ収集するエリアを駅周辺から観光拠点まで拡大したり、ごみ集積所の美化・美観の向上を図ることなどで、ごみのないきれいなまちづくりを進める。

学校図書

問 区の各学校における最新の学校図書館図書標準の達成状況を伺う。

答 平成26年度、蔵書数が文部科学省学校図書標準を上回る学校は、区立図書館49校中40校、中学校が24校中13校である。

問 古い利用されない本が残ることなく、適切な図書を受け入れや廃棄は行われているか伺う。

答 各校において、古くなり読みにくくなった本は廃棄し、子どもたちに読んでほしい本を新たに選ぶ、それらの購入を適切に進めている。

特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

特定健康診査や長寿医療健康診査と併せて受診できるようにした。また、すべてのがん検診の申し込みを、はなして行う。また、年中無休で受け付けている。また、区内全自治会でのチラシの回覧や区独自の啓発パンフレットも作成するなど、周知を図っている。今後も受診率向上に向け、積極的な受診勧奨を行う。

区政を聞く 一般質問 (要旨)

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

に努め、新たな活用策を検討する。

※他の質問項目 社会体育会館
住みなれた地域で安心してくらするよう

地域包括ケアシステムモデル事業
問 モデル事業の実施にあたって、地区内の実態調査は1千500人のアンケート調査のみでは不十分、全員を対象に調査すべきと思うがどうか。

答 モデル事業実施地区内の供給体制の抽出、需要量の調査などの実態調査を実施する。対象者数は、統計上信頼性が担保できる数であり、全員を対象にする考えはない。

問 地域包括ケアシステムの地域単位は
中学校区が理想とされており、モデル地区内では中学校は4校ある。地域包括ケアシステム拠点の地域包括支援センターなどの大幅な増設計画を持つべきと思うがどうか。

答 モデル地区内に地域包括支援センターや特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護施設の大幅な増設計画を持つことは考えていない。

※他の質問項目 先進事例に学んだ計画の策定

介護保険の改悪による負担増
問 今年度からの制度改悪で、収入が増えないのに利用料が2割負担となったり、補給給付の打ち切りで大幅負担となる方がいる。独自の助成を行い救済すべきと思うがどうか。

答 制度改正は保険料上昇を可能な限り抑えつつ、現役世代の過度な負担を避けることも、負担の公平化を図るために実施されたもので、区としては独自の助成を行うつもりはない。

プレミアム商品券
問 今年度の年末も含め、来年度も実施し、大型店の取扱いをさらに限定した上で発売額・販売箇所を大幅に増やしてはどうか。また、75歳以上のお年寄りや障害のある人などに優先的に販売する仕組みを検討するとともに、広報を充実し、取扱店を増やすため

に、手続きを簡素化してはどうか。

答 販売から2カ月近く経過し、商品券の発行規模、販売箇所、広報、取扱店手続き、販売の仕組みなど課題を認識した。今後の発行は、実施結果を検証しながら商品券発行主体の葛飾区商店街連合会とも研究していく。

政 策 葛 飾
区政のさらなる前進と医療環境の充実を

今後の区政運営
問 子どもが元気に育つまちや健康都市、快適都市などの区民との公約の実現についてどのように評価しているのか。また、今後2年間、どのように区政を運営していくのか区長の見解を伺う。

答 病院誘致を実現したほか、健康部を創設し区民の健康づくりを応援するための取り組みの推進、本区ゆかりのキャラクターや地域特性を活かした観光施策の取り組みなど本区のイメージアップや地域活性化にも成果が上がっているものと考えている。ハード面での施策では、安全・安心なまちづくりや駅周辺の街づくりなどに重点的に取り組み、金町駅南口の再開発や京成線の連続立体交差事業など、長期にわたる事業も着実に前進していると認識している。今後も、「区民第一、現場第一」「スピード感」「おもてなし」を区政運営の基本に据え、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向けて積極的に取り組んでいく。

人 材 育 成
問 平成22年3月に策定された葛飾区人材育成基本方針に基づく取組状況とこれまでの成果、今後の見直しのスケジュールについて具体的に伺う。

答 職場で育てる」を基本に据え、管理監督者が現場での仕事を通して職員を育成し、職場でのコミュニケーションを高めながら、「おもてなしサービス」の向上や「挑戦し続ける職員の育成」「業務改善の推進」などを進め、これらを実践するため、「あいさつ運動」「接遇向上研修」「協働の取組」「職場プロデュース研修」などに取り組んでいる。こうした取り組みの結果、政策・施策マーカー調査においても区民評価は向上しているものと認識しており、このまま継続し、さらに充実していく。

医療環境の充実
問 葛飾赤十字産院の施設更新にあたり、周産期医療の拠点病院としての機能を強化することが計画されているのか。また、区としてどのように機能強化を要望していくのか伺う。

答 災害に強い病院づくりに加え衛生面やプライバシーに配慮した動線確保や部屋の配置、機能的な分娩室や手術室の整備を図りたいと聞いている。区としては、産院の移転替えにあたり、区内での安定した事業継続と病院経営を行ってもらうことを踏まえながら、周産期を中心とした医療の充実や地域医療連携の強化、災害

時における医療機能の強化及び子育て支援策の充実に向けた区の施策との連携などについて要望していく。

問 葛飾赤十字産院の施設更新にあたり、どのような地域貢献の協働の取組を進めていくのか見解を伺う。

答 移転先の新図書館センターの図書館機能を敷地内等に残すことをはじめ敷地内にある深井戸や防火水槽の機能の継続などについて、区民の皆様や地域の方々の意見を踏まえながら産院と協議を進めていく。

民主 党 葛 飾
京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

問 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

答 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくりは、都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを進めるべきである。立石駅周辺においては駅前の南北あわせのランドデザインを描くとともに、周縁の資源活用や景観を重視したまちづくりを進めるため、地域と連携したエリアマネジメントを構築すべきと考えるがどうか。

問 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくり

答 京成押上線連続立体交差化にともなう周辺のまちづくりは、都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを進めるべきである。立石駅周辺においては駅前の南北あわせのランドデザインを描くとともに、周縁の資源活用や景観を重視したまちづくりを進めるため、地域と連携したエリアマネジメントを構築すべきと考えるがどうか。

問 葛飾区男女平等推進計画

答 第四次男女平等推進計画の成果と第五次計画に向けての課題を伺う。

答 第四次計画における「ワーク・ライフ・バランスの推進」では、誰もが仕事と家庭生活を大切にしたい暮らしを送るよう、理解を深めるための講座や普及啓発を行った。「あらゆる暴力の防止」では、DVの未然防止、早期発見、相談の充実、被害者支援に取り組んだ。「女性の参画」では、政策や方針を決定する過程への女性の参画拡大を推進した。こうした取り組みを進めたことにより一定の成果は上げられたが、男性は仕事優先、女性は家庭を優先している実態があり、完全な男女平等社会には程遠い実状にあると認識している。第五次計画では、こうした状況を踏まえ、葛飾区男女平等推進審議会での審議を重ねて、より実効性の高い計画としていきたい。

問 葛飾区特別支援教育

答 来年4月から開設される特別支援教室について、既存の7校の情緒障害等通級指導学級は、今後周辺の特別支援教室間の拠点機能が求められると考えるが、その位置づけと周辺校への巡回指導教員等の専門職員による支援体制はどうなるのか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。

問 子どもの若者を社会全体で支援する取り組み

答 様々な困難を抱えた子どもや若者たちへの支援は一つの部署や機関に限らず、広範囲の連携が必要である。区として子どもに続く若者支援の力「テグリー」を明確にし、内閣府の子ども・若者育成支援推進法や策定された東京都の子供・若者計画にある地域協議会の設置を検討すべきと考えるがどうか。



葛飾赤十字産院

問 葛飾区特別支援教育

答 来年4月から開設される特別支援教室について、既存の7校の情緒障害等通級指導学級は、今後周辺の特別支援教室間の拠点機能が求められると考えるが、その位置づけと周辺校への巡回指導教員等の専門職員による支援体制はどうなるのか。



宝木塚小学校しょうぶ学級